

# 古紙偽装問題について



## 古紙偽装に関する プレスリリースが 行われる。

2008年1月26日(土)大阪にて、印刷会社および印刷関連業で構成する印刷業界青年部組織「全国印刷緑友会」(会員950社、連絡先/協業組合ユニカラー 代表理事 岩重昌勝 鹿児島県鹿児島市小田町7276 3 電話099-2385525)及び、全国青年印刷人協議会有志(連絡先/株式会社 一心社代表取締役専務 浦久 保康裕 大阪府大阪市天王寺区大道114-15 電話0667711121)は、このたびの製紙業界の有力6社(日本製紙、王子製紙、大王製紙、三菱製紙、北越製紙、中越パルプ工業)等による、印刷用紙及び紙製品への古紙パルプ配合率の偽装についての共同声明を発表することを決定しました。

この声明については、今回の偽装に関して印刷業界に与える影響が甚大であることから、グリーン購入ネットワーク(3000社加盟、連絡先/会長 中原秀樹 東京都渋谷区神宮前5-53 67 コスモス青山 B2 電話03-34065155)が既に1月21日に発表している声明文に賛同する形で、3団体による緊急の会合が1月25日大阪にて開催され決定しました。

**全国印刷緑友会**  
http://www.greenfriend.jp/  
発行: 全国印刷緑友会  
責任者: Y-ING 井上雅博  
編集人: Y-ING 齊藤理  
FAX不要の方はこちらへご連絡下さい



先月発生した、古紙配合率偽装問題において印刷業界及び関連業は多大な影響がありました。しかしながら、私たち印刷業界において具体的などうアクションや顧客に説明をするべきかなど具体的な指針や方策などの情報が少ないのが現状です。そこで、折りによる先月大阪にて開催された常任幹事会において、どう対応すべきかを話し合いました。そこで検討されたのが下記の声明文です。各グループ等において利用等いただければ幸いです。

また、今回のプレスリリース先は、印刷業界紙、日本製紙連合会を予定しております。

## 共同声明文

全国印刷緑友会  
全国青年印刷人協議会有志

### 本件への謝罪、原因の究明と公表、再発防止に向けた対応策の策定

今回の偽装問題に対して強く抗議するとともに、私たち環境にやさしい活動に取り組むユーザー・消費者への謝罪を求めます。また、このような事態に至った原因の究明と公表、さらには再発防止に向けた対応策の早急な策定を要求します。

### 既に製造された印刷物・紙製品が、新たな環境負荷増大に繋がらないような適正対応

既に製造された在庫品や回収された印刷物・紙製品が廃棄されたり、古紙原料にリサイクルされたり、ということになれば、さらに環境負荷が増大することになります。そのまま使用したり、表示を改めた上で利用するよう製紙会社に求め、私たちもまた環境負荷増大に繋がらないよう努力します。

### 古紙パルプが配合された紙製品の市場への継続供給

該当製品の生産停止が行われていますが、グリーン購入活動を後退させないためにも、正しい表示を行った上で古紙パルプ配合製品(再生紙)を市場に積極的に供給していくことを求めます。

### 失われた信頼回復・環境負荷回復のためのオフセットプログラムの創設

今回の偽装問題は、G8北海道洞爺湖サミットを目前にひかえ、国内外のグリーン購入活動、印刷関連産業に与えた影響は甚大で、消費者の信頼を大きく傷つけました。また今後、各企業が被った損害賠償問題等が発生することが予想されますが、私たちは早期問題解決および印刷業界の信頼回復に向けて、今後もグリーン購入を推進させるために、これまで偽ってきた環境負荷貢献分(古紙パルプ配合率の乖離度)をオフセットする仕組み、持続可能な森づくりと間伐材などを利用した製品化、グリーン購入を普及・推進させる枠組みなどで、消費者の信頼を回復させ、これまで偽ってきた環境負荷の価値を補うことを提案します。

### 印刷物における古紙配合率の表示について

印刷物の発行主体である事業者・行政・団体

すでに完成している有償・無償の印刷物(行政機関や企業等の発行物、封筒、名刺、書籍、雑誌等)の在庫については、その発行主体のホームページ等で印刷物の利用者向けの説明・訂正(表示値と実績値の乖離等)をすることにより、個々に訂正することなく配布できるようにする。

これから作成する印刷物については、印刷業者に確認をとりつつ、次の三段階で対応する。

- 〔(A)実績値が明らかになっていない段階〕  
古紙配合率やRマーク、再生紙である旨の表示をしない
- 〔(B)製紙会社からの報告で実績値が暫定的に明らかになった段階〕  
実績値の古紙配合率について「%(暫定申告値)」と表示する
- 〔(C)古紙配合率のトレーサビリティが確立し社会的合意が得られた段階〕  
古紙配合率やRマークを従来通りに表示する。偽装(の疑いのある)商品と見分けられるよするため、「%(確約値)」など、何らかの区別表示をすることも考えられる。

今や、環境問題は、最大の外交問題になるほどの、世界的な問題だ。経済は成長させつつ、CO2を削減するっていう考え方だろう。

会社経営も、まさに環境に配慮した循環型が、求められる時代だ。当社でも、先ごろ、エコアクション21を取得した。この資格は水やCO2の廃棄物の量を具体的な数値を決めて、削減して行くことを宣言する。

これも非常に重要なことだけど、もっと根本的なことは、必要なだけしか儲けない、って言うことではないだろうか。

我々は経営計画で、必要な利益を宣言している。利益って、多ければ多いほど良いんじゃないかって、何のためにいくら必要なのか。それが大事なんじゃないかって、計画に届かないときは、残念で、計画をオーバーしたら喜ぶ。これが普通の感覚だろう。

でも、経営のプロとしては、計画通りなら喜べるけど、足りなくても多すぎても、悔しがらなくてならなければ、いけないと思う。

みんながその感覚になれば、いろんな問題は、大分、楽になるんだろうなあ。日は好日。

(徹熊)

編集後記